

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：32003
学校名：篠路中学校

改訂のポイント		○目標達成に向けて、教科ごとにセルフチェックを意識した授業改善策の検討を行った。 ○各教科の検討内容（教科レポート）を校内研修会で全教員が共有した。		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆自ら意欲的に学び、新しい課題を見つけ、挑戦する生徒 ☆深く考え、対話し、学び合うことができる生徒		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 ・身近で日常生活体験に関連する課題設定の追究。 ・タブレット等 ICT 機材を活用した授業の工夫。 ・小集団活動など、生徒の実態に合った授業展開。	【成果】 ⇒各教科が工夫し、生徒に身近な題材を準備することで学習意欲を高めることができた。ICT 機器の活用が相乗効果を生んだ。小集団の対話的な学習が効果を生んだ。	【課題】 ◇基礎基本の定着に時間がかかる生徒にとって意欲が高まり、自ら学習に向かうことができるような、課題設定の工夫。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ・グループでの役割を明確にし、意見交流をしやすい学習活動を目指した授業改善。 ・グループでの話し合いや活動に適した題材の工夫。	【成果】 ⇒話し合い活動や相互評価を取り入れる教科が増え、活動に深まりが見られるようになった。特にタブレットなどの教具の工夫が話し合いの質を高めた。	【課題】 ◇グループ内の苦手意識が強い生徒が発言をためらい、あきらめてしまわないような展開や支援の工夫。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ・小テスト等の定期的な実施による反復練習への取組。 ・学習課題の提供や長期休業中の学習会実施。 ・T T、習熟度別少人数指導の有効活用。	【成果】 ⇒各教科の地道な取組が基礎力向上につながっている。 ⇒各学年で毎日の生活、学習記録をつける取組を行うことで、計画的な学習を意識させることができた。	【課題】 ◇家庭学習習慣の確立に向けた支援方法。 ◇きめの細かい個別指導と、苦手意識の強い生徒への支援の強化。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す、課題探究的な学習を取り入れた授業や校内研修の工夫改善		
	具体的な改善策（取組）	○新学習指導要領にが示す「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業の工夫改善に各教科で取り組む。 ○ICT 機器を活用した授業の工夫に取り組む。 ○個を意識し、話し合い活動が深まる学習活動を取り入れた授業への改善を図る。 ○基礎基本の定着を図る授業や支援を各教科で検討し、実施する。 ○校内研修と教科会の充実を図り、A L T を含めた T T の有効活用を図る。		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○各教科の評価規準に基づく観点別学習状況評価結果の活用。 ○全国学力・学習状況調査や観点・領域別達成度調査結果等の活用。 ○札幌市教育委員会による「学習などについてのアンケート」結果等、また学校独自の学校評価アンケート結果の活用。		